



周東中校区の学校の  
取組や小小・小中連携  
の様子をお伝えする  
院生だよりです！

R 8 . 6 . 1 5  
文責：高森小学校  
亀井陽子

## 小中一貫教育合同学習がありました

6月10日(水)8:30~10:35、高森小学校において「小中一貫教育合同学習」を実施しました。  
(参加者：川上小6年1名、修成小5・6年7名、そお小5・6年16名、高森小5・6年97名、米川小5・6年8名)

5年生は、「人間関係づくり」、6年生は「学活・自学ノートづくり」を行いました。

### 5年生・人間関係づくり

片山伸二先生をお迎えして、人間関係づくり・AFPYを行いました。



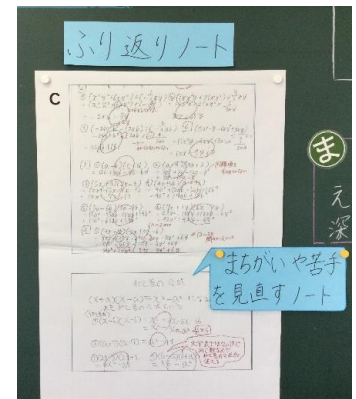
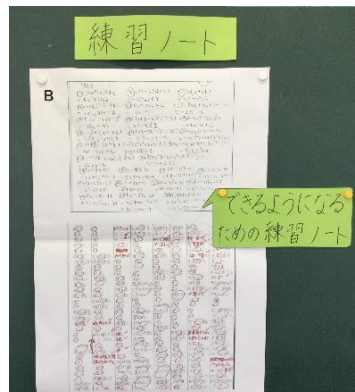
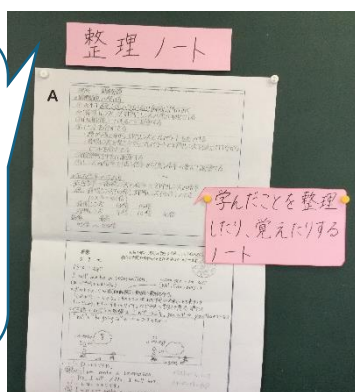
まず、「じゃんけんをしてあいこになったら座る」という活動を行いました。その後、言葉を使わずにジェスチャーだけで誕生日順に並んだり、立てた一本の釘の上に12本の釘を乗せるにはどうしたらいいのかをグループで考えたりしました。12本の釘をバランスよく乗せた後、片山先生が1本釘を抜かれると、一気に崩れてしまいました。片山先生は「小さい力で支え合っていたのに、1本でもなくなったら崩れる。人間関係も一緒に、小さい力で支え合えば一つのことを成し遂げることができる」と話されました。

アンケートの自由記述欄には、「いろいろな人達と協力して取り組めた」「互いに支え合うことが大事だと分かった」「友達と仲良くしたい」といった記述がありました。合同学習を通して、他者と協働しようとする意欲の高まりが伺えました。

## 6年生 自学ノートづくり



実際の中学生の自学ノートを参考にして6年生も自学ノートづくりをしました！



前回の合同学習では、中学校への期待感や中学生にあこがれる気持ちが高まったことがアンケートによって分かりました。一方で、その気持ちが、主体的な学習行動につながっていないということも分かりました。そこで、今回の合同学習では、自学ノートの仕方を中学生の自学ノートから学ぶことで、前回の期待感やあこがれを具体的な行動につなげられたらと考え、授業を実施しました。

まず、前回の合同学習の様子を写真や動画で振り返り、本時の振り返りの視点「やってみたい・中学生とのつながり・選ぶ」を提示しました。その後、中学生のインタビュー動画を視聴し、自学ノートの大切さを感じました。

次に、中学生に貸していただいた自学ノートを3つのカテゴリーに分けて提示しました。一つ目は「整理ノート：学んだことを整理したり、覚えたりするノート」中学生は、理科で顕微鏡の使い方を整理したり、英語で will と be going to のちがいを図で説明したりしていました。二つ目は、「練習ノート：できるようになるための練習ノート」中学生は、英単語の繰り返し練習や数学のワークの問題を解いていました。三つ目は「振り返りノート：間違いや苦手を見直すノート」中学生は、数学の問題でなぜ間違えたのか説明したり、計算のポイントをまとめたりしていました。6年生にいつもの自学ノートのことを聞いてみると多くの児童が「練習ノート」だと捉えたようです。15分程度の時間で3つのノートのどれかにチャレンジ(教科や単元は自分で選ぶ)し、できたところまでで互いの自学ノートを交流しました。

アンケートの自由記述欄には、「いろいろな自学ノートをやりたい」「中学校のようなノートをつくりたい」「3つのノートを使い分けたい」といった声がありました。合同学習を通して、自ら学ぼうとする意欲の高まりが伺えました。

次号は、事後アンケートについてお知らせいたします。